音楽生かしAED普及

「42分後の奇跡」原点

松戸のジャズ奏者川口さんら

心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す自動体外式除細動器（AED）を一般の人が使えるようになり、今月で3年目を迎えた。松戸市のジャズミュージシャン川口日出旺さん(60)と妻の和恵さん(61)らが立ち上げた、AEDの普及を目的とする「デフィブリーるの会」の活動もすそ野を広げてきた。きっかけは、日出旺さんと医師が生んだ「42分後の奇跡」だった。（及川綾子）

4月に柏市内で開かれた川口さん（手前）のコンサート＝川口音楽事務所提供

02年10月18日、同市の森のホール21で開かれた日出旺さんのコンサート。5曲目のリズムを軽快にとっていた時のことだった。

観客500人の視線が注がれている中、突然日出旺さんがステージ上で倒れた。心肺停止状態で顔は青白く、全身はみるみる冷たくなっていった。心筋梗塞（こうそく）だった。

「『ステージで死ぬなら本望だ』という口癖が冗談ではなくなってしまった」と和恵さんは振り返る。

医師が会場に

その時、ステージに駆け上がった一人の男性がいた。日出旺さんの音楽の教え子、渡辺英二郎医師（千葉西総合病院）。

「絶対に死なせない」

搬送先の病院まで心臓マッサージと人工呼吸を繰り返した。

「たとえ助かったとしても、意識は戻らないかも知れない」。和恵さんが病院から子供たちに連絡を取ろうとした矢先のこと。心臓が再び動き出したのだ。

倒れてから42分がたっていた。

「渡辺先生がいなければ助からなかった」と夫妻は語る。日出旺さんは左脚などにマヒが残ったが、ピアノを使ったリハビリなどで回復し、3カ月後に退院した。

退院の際、渡辺医師から「AEDさえあれば僕がいなくても助かった」と言われて、AEDの存在を初めて知った。当時、世間ではほとんど知られていなかった。

蘇生率約7倍

04年7月から、心停止患者の救命率を上げることを目的に、一般の人でもAEDを使えるようになった。

東京消防庁によると、管内で昨年、路上などで交通事故や急病により心肺停止になった3107人のうち、近くに居合わせた人が心肺蘇生法と合わせてAEDを使ったケースが41人。うち17人（41・5％）が病院への搬送前に脈や呼吸が回復。何もしなかった場合の蘇生率は6・4％で、その約7倍だった。

夫妻は、命を救ってもらったお礼にAEDを寄付しようと、日出旺さんのファンらから2千円ずつの寄付を募った。1台目は松戸市に寄付し、森のホール21に設置された。04年11月には会が設立され、初代会長には渡辺医師が就任した。翌年、2台目を県に寄付し、松戸市の県西部防災センターに置かれた。

開演前に実演

各自治体がAEDを配備していくようになったのに伴い、会は今、市民向けの講演や講習会といった活動に力を入れる。

2代目会長の森本文雄医師（松戸市立病院）は日出旺さんのコンサートの開演前に、会場でAEDの実演をしている。森本医師は「いざという時に、どうしたらいいかは日頃からの備え。災いは突然やってきます」。

あのコンサートから5年が過ぎ、日出旺さんは還暦を迎えた。10月、音楽生活40年を記念したコンサートを開く。日出旺さんは「宝のもちぐされになってはだめ。多くの人に自分のコンサートを通してAEDを知ってもらいたい」。和恵さんも「音楽でしか役に立てない人。そのために生かされたと思う」と支える。

将来、家庭や24時間営業のコンビニに設置され、小中学生から大人まで誰でもAEDが使える日がやってくる。それが夫妻の願いだ。

□　□

2人の住む松戸市では公共施設や救急車などに75台が置かれている。（市消防局調べ、1月15日現在）。県医療整備課によると、県有施設には5月末現在で102施設に123台がある。

BAY VOICE

DJ KOUSAKU

「ようやく、はじめの一歩が踏み出せる」。今はそんな気持ちと「本当にこれでいいのかな？」なんて思いが、心の中で葛藤（かっとう）しております。

僕の地元浦安市で、市民による「16万人ゴミ拾い」の来年開催をブチあげ、そのプレイベント「ZEROCKI’N　07」が15、16日、新浦安で開催されるわけです。が、正直複雑な心境なんです。

今、2人の娘の寝顔を見ながらこの原稿を書いています。この3カ月、特にこ1カ月は、忙しく動き回っていて、あまり構ってあげられなかったのが現実。

「子供のために親として何が出来るのか？」と動き出したのに、子供と一緒にいる時間もないくらいバタバタと動き回ってたどり着いた開催。でも、環境問題は彼女たちの未来のためのこと。一人でも多くの子供たちに参加してもらえたらいいなと思います。

学ぶ環境イベント「ZEROCKI’N

楽しく学
あゆみさ
ィストの
会場は

撮影会

南房総市千倉町の白間津地区で催される大祭（オオマチ）の撮影会と写真コンテストを、次の要領で開催します。【撮影会】28日10時－19時。

ストも

写真で四つ
インクジェ
可。画像合
物。点数制
応募点数

全日写連

《6月例会成績》千葉支部①小坂幸男②斉藤道宏③斉藤誠▽習志野支部①山上善雄②松浦昭子③君塚義勝▽船橋支部①正方寺健②江野窪文章③市原未明▽市川支部①金子紀雄②大竹登喜江③藤田力夫▽松戸支部①神倉富

◇青果
（6Eイブンマャガラスロタセュスマ
ダカニコキナニアブレパキナト・